

月刊

絵手紙11

2023 no.335

2024年版
辰年



読者投稿約900通掲載!

絵手紙

年賀状

◇小池邦夫の年賀状

◇「^{えが}描かれた龍たち」

仙厓、芦雪、若冲、北斎、国貞ほか



絵手紙は「ヘタでいい ヘタがいい」

今年も年賀状展開催!

今月号掲載の絵手紙年賀状約900通を展示いたします。

【会期】令和5年12月7日(木)~令和6年1月8日(月祝)

【会場】郵政博物館 企画展示場

及び旧ミュージアムショップスペース



詳細102頁

かいてみつける、身近なしあわせ

巻頭あなたの一通を待っている人がいます

郷土人形×絵手紙

山田喜代春の詩画世界

特集◎辰年によせて

「描かれた龍たち」

登坂和雄の一語一絵(休)

小池邦夫の年賀状

手紙のヒント 中川越

柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎

自分の道を歩く——相田みつをの言葉

2024年版 辰年

みんなの絵手紙年賀状

初心者の絵手紙教室

絵手紙の基本/絵手紙の年賀状のポイント

◎阿部祥子のどんだん動いてどんだんかいてどんだん学ぼう 絵手紙で「楽しい版の年賀状」

◎兼岩幸恵の小さくても一歩

「オリジナルティの育て方」

essay アーサー・ビナード

みんなの絵手紙年賀状

〈北から南から〉

年賀状展のお知らせ 郵政博物館

脳活クイズ 結城俊也

〈日本絵手紙協会からのお知らせ〉

94 日本絵手紙協会主催(絵手紙友の会)友の会で一生の友たちを見つけよう

96 講座のご案内

100 〈募集〉絵手紙通信講座

103 展覧会のご案内

104 あなたの街の絵手紙情報(展・体験)

106 ボランティア部からのお知らせ

107 2024年ひろばテーマ(年間予定表)あなたも公認講師を目指しませんか?

108 投稿の募集要項

110 小池邦夫絵手紙美術館ニュース

112 栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより

114 日本絵手紙協会・推薦教材

116 「小池邦夫を偲ぶ会」日程のお知らせ

117 脳活クイズ(解答)/寄贈のご報告

118 日本絵手紙協会へのアクセス

119 「絵手紙友の会」からのお知らせ/編集後記

120 『月刊絵手紙』定期購読のご案内

120 ご注文方法

次号予告

「エッセイ」書いてみました! / みちのくの仏

*郷土玩具 〈表紙〉宮島張子・玉龍(紙/広島県廿日市市) 〈もくじ〉住吉神社・龍頭船(土/大阪府大阪市) 〈裏表紙〉古博多土人形・鯛かつぎ子ども恵比寿(土/福岡県春日市) *絵手紙 〈表紙〉緒方弘美(千葉) 〈裏表紙〉鯛かつぎ:草間孝子(長野) 羽子板:大神貞子(福岡)

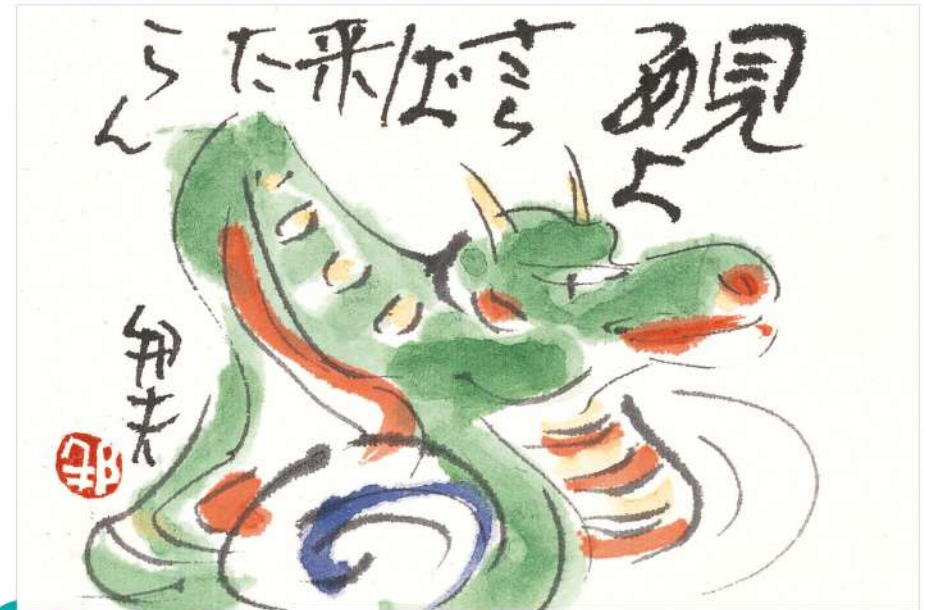
◎連載「ことばの旅」、「古拙微笑」、「木もれ日」は今月はお休みです。

この時その時を一杯に鳴く

小池邦夫の 年賀状



午^{うま}



辰^{たつ}



丑^{うし}

書くとき散らぬ すべて残る
字も文も絵も息づかいも

こいけ・くにお
1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」をモットーに絵手紙を広める運動をつづける。日本絵手紙協会名誉会長。2023年8月31日逝去。享年82。

先月号の巻頭でもお知らせの通り、絵手紙の創始者で日本絵手紙協会名誉会長・小池邦夫が8月に82歳で永眠いたしました。小池は常々「もらったら嬉しい」年賀状を、日常の手紙、「日賀状^{ひがじょう}」にしたい」と語っていました。
人生のほとんどを筆と墨と共に生き、「書けば残る」といのちの限りに墨色を追い求め、晩年には「絵手紙を文化として100年残したい」と手紙を書き続けた故人の遺志を継いで、辰年も皆さまと一緒に迎え、絵手紙文化を絶やすことなく伝えていきたいと願っています。

読者投稿

みんなの 絵手紙

辰年に思いをよせて、今年も大切な



有松紀末子(福岡)
還暦だ、第2の人生へスタート！
いの幸せな年でありますように！
笑顔いっぱい



小林智子(新潟)
何でも相談できて自分のごと
のように悩んでくれる友へ。

2024年版 辰年 年賀状

あの人に絵手紙でごあいさつ



菊田多恵子(東京)
今年こそは戦争のない平和な
世の中にと願います。



小西伊津子(三重)
絵手紙で心から繋がっている友へ。



森 永子(三重)
ふたりそろって長生きに感謝。一日一日を大切に
楽しい日々をおくりたい。



井上かす子(群馬)
一緒に絵手紙教室で学んでいる友へ。



遠藤 緑(埼玉)
82歳になる姉は博識で好奇心のかたまり。い
ろんな場所へ元気に出かけてほしい、もちろ
ん私も一緒にします。



山本順子(大阪)
若冲の筋目描きに近づきたくて。

初心者の 絵手紙教室

絵手紙は「みじか(みぢか)主義」。

- ・身近なものをモチーフに
- ・短い時間でかき
- ・短い言葉を添えて
- ・身近な人に出す

気軽に楽しみながら

気持ちを届けることができます。



絵手紙の創始者・小池邦夫

絵手紙の基本

絵手紙の道具

- ① 墨と硯
- ② 穂の長い筆(線かき用)
- ③ 穂の短い筆(彩色用)
- ④ 画仙紙はがき
- ⑤ 筆洗
- ⑥ 梅皿
- ⑦ 顔彩
- ⑧ 印泥(名前印を押すためのもの)



まずは「線の練習」で集中力を高めよう

1 硯に水滴を落とし、墨を軽く持ち、手をゆっくり動かしゆつたりと磨っていく。



2 はじめに筆の根元までたっぷり墨を含ませる。かく時にティッシュで余分な墨を拭き取り調節する。



3 背筋をのばし、肘をあげて、筆の上の方を持つ。

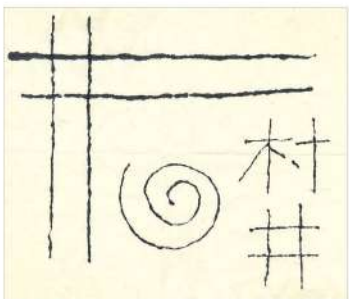


※肩や腕が痛い人は、無理をせず持ちやすい方法で持ちましょう。

4 筆は紙に対して垂直。穂先の毛2、3本だけを使ってもりがかく。



5 「線の練習」で集中力を高めたら、さあ絵手紙をかこう



半紙に横線、縦線、曲線(うず巻き)、文字の順にかいていく。線は1分間に10センチかくらいのもりで、ゆっくりかこう。